

2024年9月12日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

当会は、香川県の農業、ならびに地域経済の活性化に資する地域金融機関としての社会的役割と責任を充分認識したうえで、経営資源の有効な活用および適切な配分を行い、JAバンク機能の一層の発揮に努めております。食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

香川県信用農業協同組合連合会

I.取組状況

1 お客様への最良・最適な商品の提供 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当会は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：3)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	1 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

投資信託商品の選定にあたっては、JAバンクの中央機関である農林中央金庫において販売する商品の基本的な利益(リターン)、損失その他のリスク、取引条件、選定理由、手数料水準等が適切なものであることを確認したうえで、お客さまの最善利益の追求の観点で、「JAバンクセレクトファンド」として厳選した商品ラインナップをご提供します。

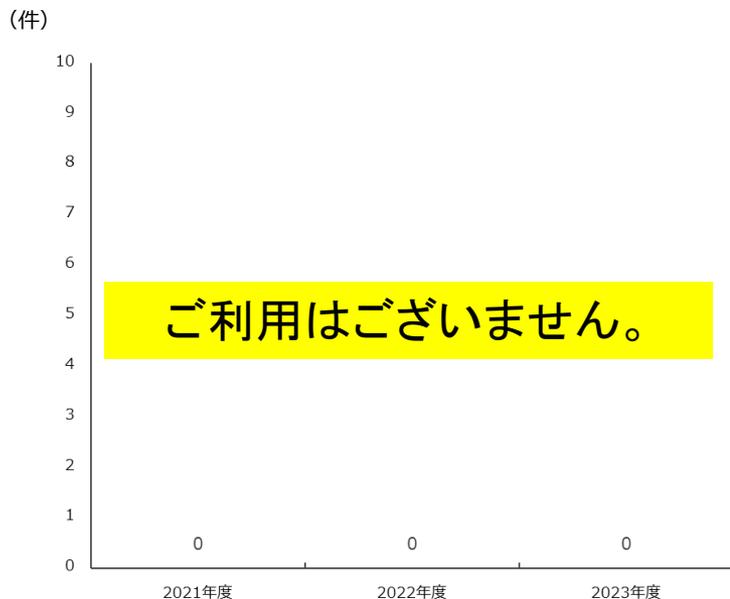
※参考：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>

I.取組状況

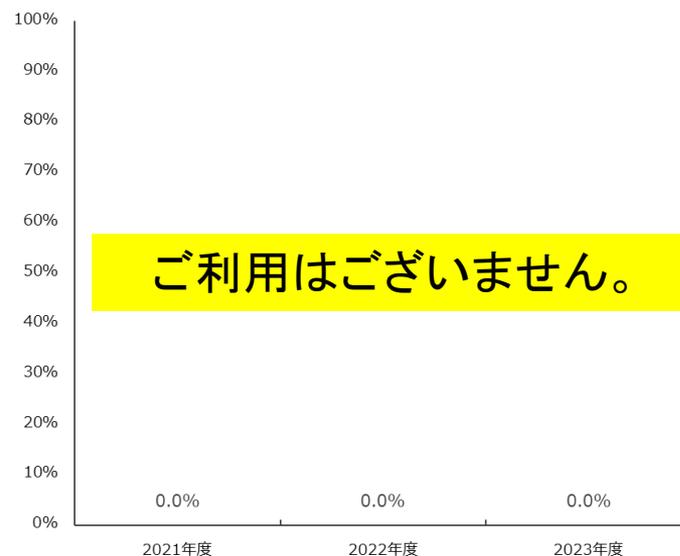
2 お客様本位の提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- お客様との長期的な相互信頼関係構築のため、対話を重ねることでお客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的を丁寧に確認し、お客さまにふさわしい商品をご提案いたします。金融商品のご案内時には、販売手数料の多寡に関わらず、お客さまのライフプランに合った適切な商品をご案内いたします。
- 2021年度から2023年度において、「投信つみたて」や「毎月分配型ファンド」をご購入されたお客さまはございませんでした。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I. 取組状況

2 お客様本位の提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施いたします。また、パンフレットやホームページについては、分かりやすい表現を徹底しております。特に高齢のお客さまに対しては、理解度を十分に確認しながら丁寧な説明を心がけ、慎重に対応いたします。
- お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するよう、丁寧かつ分かりやすい説明に務めます。また、投資信託のご案内の際には、当会で取扱う主なファンドの特徴や手数料、運用状況等を一覧で確認できる資料等を用いてご説明します。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

＜J Aバンクセレクトファンドマップ＞

JAバンクセレクトファンドマップ

リスクレベル: 安定型 (低リスク) → 中～高リスク (中～高リスク) → 積極型 (高リスク)

投資スタイル: 保守型 (安定型) → 成長型 (積極型)

主要な特徴:

- 安心型: 日本債券ファンド、国内債券ファンド、海外債券ファンド
- 中～高リスク (中～高リスク): 国内株式ファンド、海外株式ファンド
- 積極型: 国内株式ファンド、海外株式ファンド

※ 投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施いたします。

重要情報シート

投資信託	商品名	運用会社	リスク	手数料	運用状況	その他
コア	JAバンクセレクト 国内債券ファンド	JAバンク	低	0.5%	2022.03.31: 100.0%	国内債券
	JAバンクセレクト 海外債券ファンド	JAバンク	低	0.5%	2022.03.31: 100.0%	海外債券
	JAバンクセレクト 国内株式ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	国内株式
	JAバンクセレクト 海外株式ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	海外株式
	JAバンクセレクト 国内債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	国内債券・株式混合
	JAバンクセレクト 海外債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	海外債券・株式混合
	JAバンクセレクト 国内債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	国内債券・株式混合
	JAバンクセレクト 海外債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	海外債券・株式混合
	JAバンクセレクト 国内債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	国内債券・株式混合
	JAバンクセレクト 海外債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	海外債券・株式混合
サテライト	JAバンクセレクト 国内債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	国内債券・株式混合
	JAバンクセレクト 海外債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	海外債券・株式混合
	JAバンクセレクト 国内債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	国内債券・株式混合
	JAバンクセレクト 海外債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	海外債券・株式混合
	JAバンクセレクト 国内債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	国内債券・株式混合
	JAバンクセレクト 海外債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	海外債券・株式混合
	JAバンクセレクト 国内債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	国内債券・株式混合
	JAバンクセレクト 海外債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	海外債券・株式混合
	JAバンクセレクト 国内債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	国内債券・株式混合
	JAバンクセレクト 海外債券・株式混合ファンド	JAバンク	中～高	1.0%	2022.03.31: 100.0%	海外債券・株式混合

※ 重要情報シートは、お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施いたします。

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- 利益相反が生じやすい場面（手数料の高い商品のみを推奨する等）において、重要情報シート等の活用により利益相反が生じる可能性等を具体的に説明します。

4 お客様本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

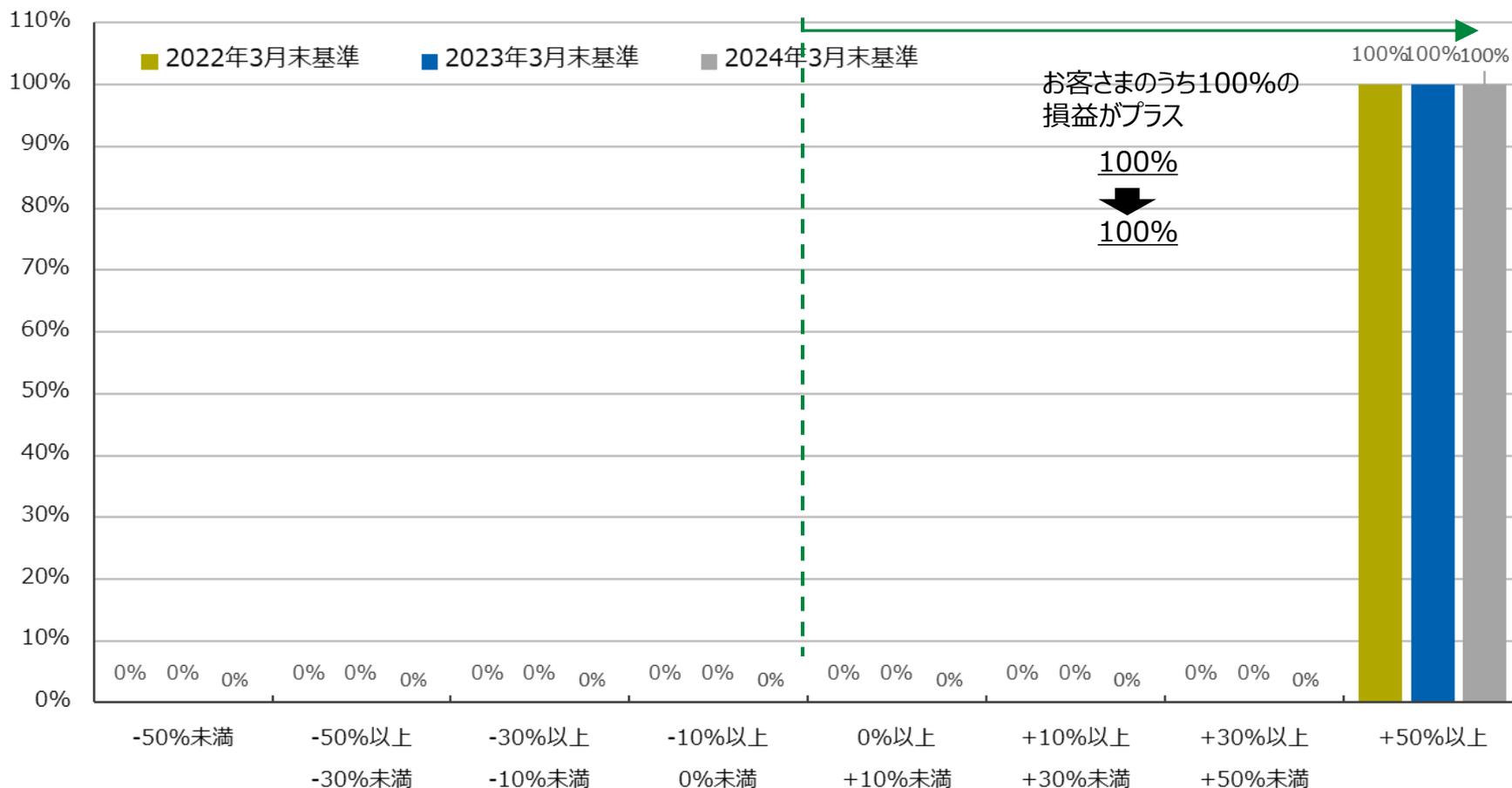
【原則2本文および(注)、原則6(注5)】
【原則7本文および(注)】

- お客さまの多様な資産運用等のニーズに対し、的確なコンサルティングを提供し堅確な事務を行うため、投資信託に係わる役職員については、毎年研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、2024年3月末時点ではすべてのお客さまの損益がプラスとなりました。

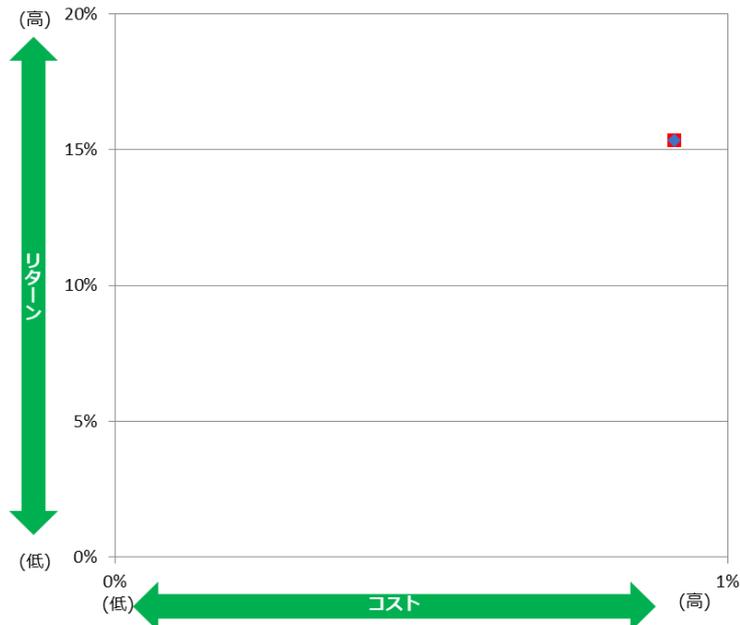


Ⅱ.比較可能な共通K P I

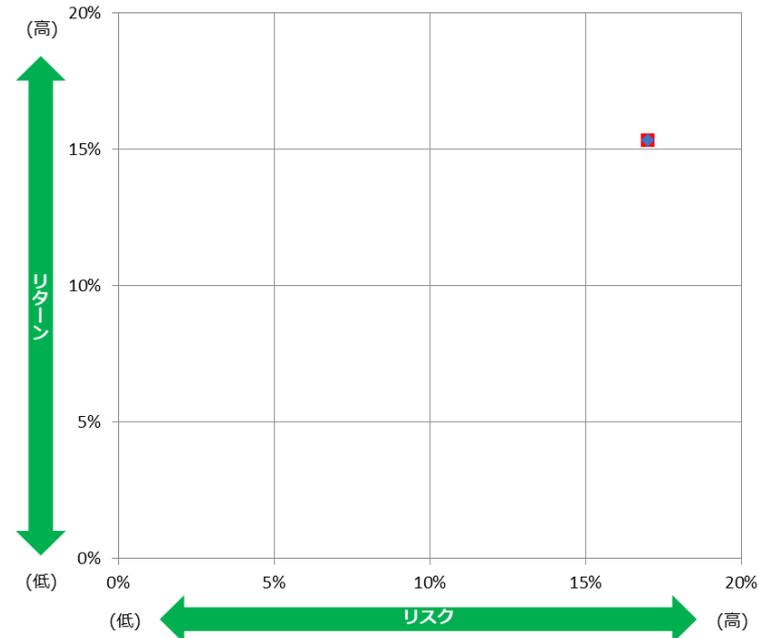
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2024年3月末）

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.91%、平均リスク17.00%に対して、平均リターン15.34%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



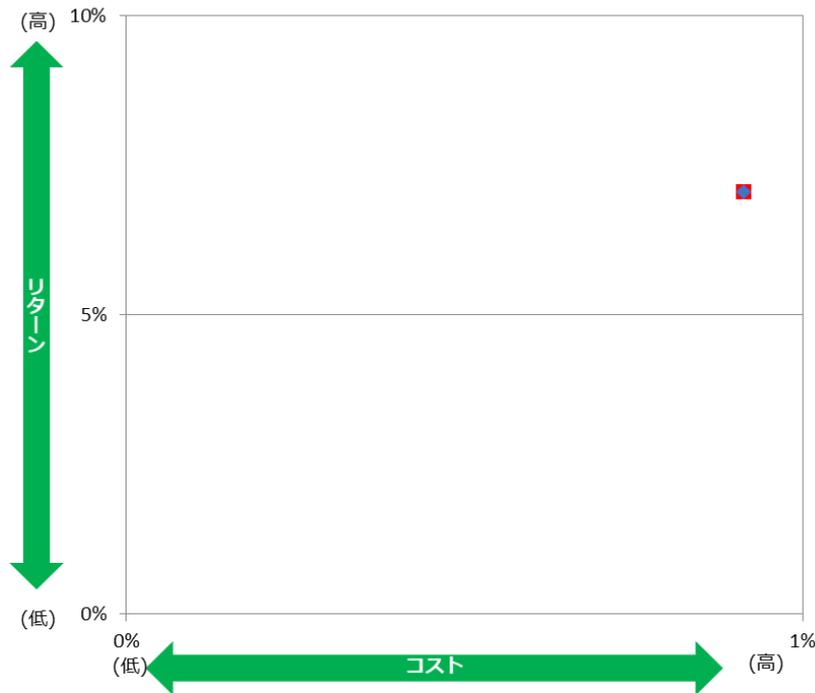
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

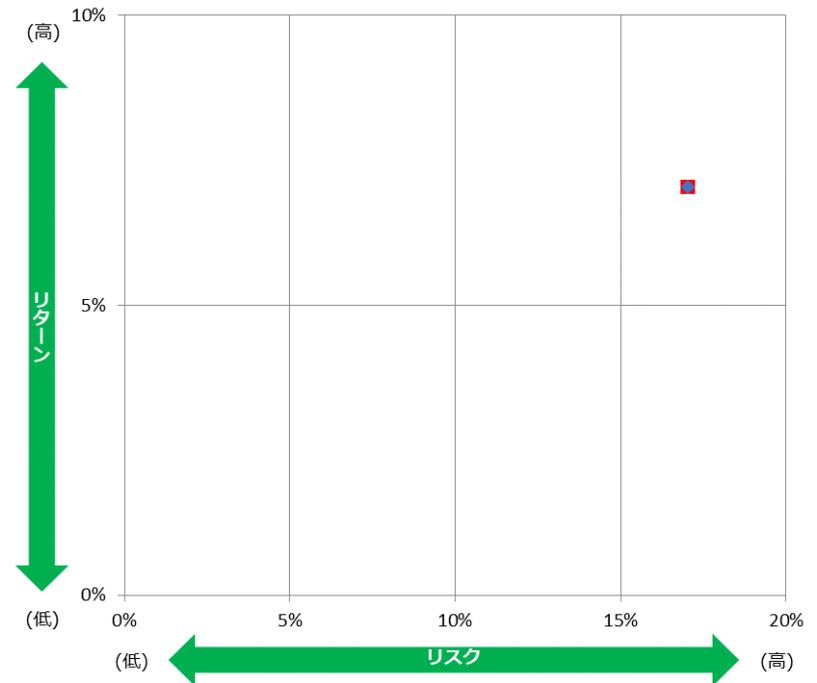
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.91%、平均リスク17.04%に対して、平均リターンは7.05%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



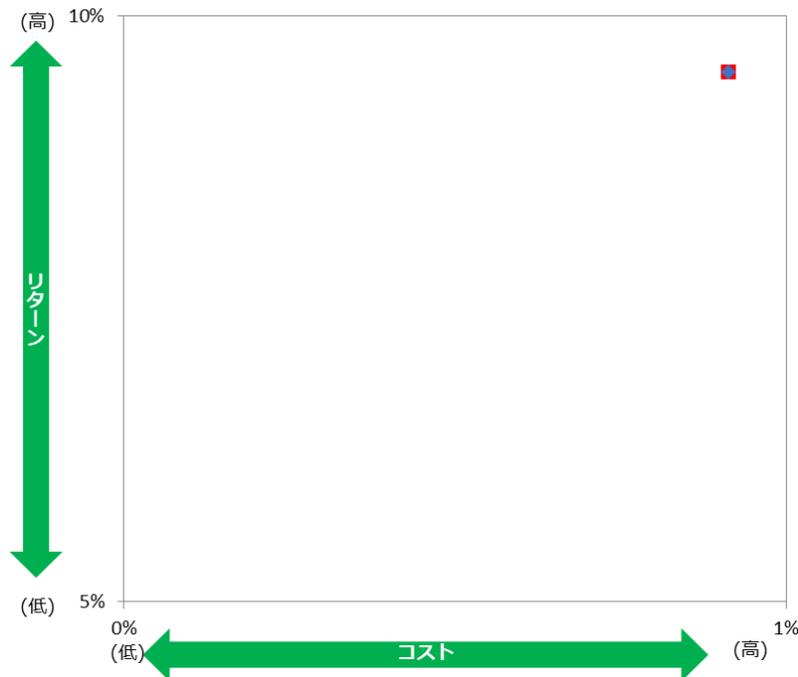
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

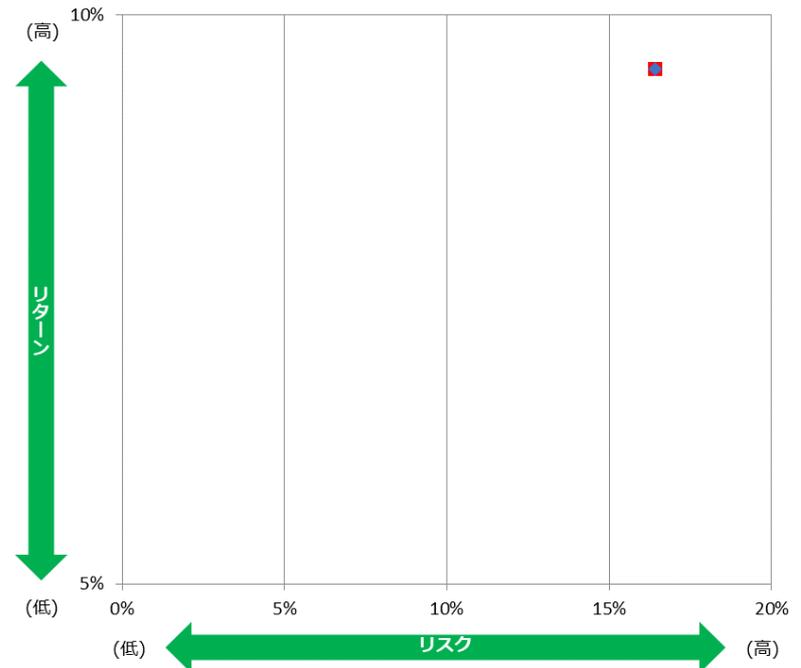
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.91%、平均リスク16.42%に対して、平均リターンは9.53%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

2024年3月末

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		15.34%	17.00%	0.91%

2023年3月末

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.05%	17.04%	0.91%

2022年3月末

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		9.53%	16.42%	0.91%

※ 2022～2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は1本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。